



一本道

相良中学校通信No.35

令和5年1月19日

校長 吉田憲一

1 アンガーマネジメントとは？こころの健康づくり講演会

1月13日、相良村保健福祉課とタイアップし、精神保健福祉士の檜垣先生を講師に招き、本校の1年生に対して「こころの健康づくり講演会」を実施しました。講演内容は「アンガーマネジメント」についてでした。講師の先生からは、アンガーマネジメントとは、「怒り（アンガー）で後悔しないように、トレーニングしながらコントロールすること」との説明があり、「怒りの正体」「コントロールする方法」「怒りの温度を測ること」「怒るときの3つのルール」等、大変興味深い話をいただきました。生徒たちもうなずいたり笑ったりしながら、しっかりとメモを取り聞いていました。きっと今後の学校生活や家庭生活に活かされていくことでしょう。



2 「夏目友人帳」を1年1組にて朝読しました。

1月18日、1冊の本を持って1年1組教室に入りました。8時5分から「朝の読書」が始まります。生徒の机に座り、8時25分までの20分間、1年1組の生徒とともに、静かに読書を楽しみました。3学期は、できるだけ生徒と一緒に朝の読書を楽しみたいと思っています。今読んでいる本が数冊あるのですが、その中から本校の図書館にある漫画の本「夏目友人帳」を読みました。正月、人吉市の田町菅原天満宮に初詣に行きました。そのこともあり、遅まきながら「夏目友人帳」を読みたいという思いになったからです。



3 全国でも類を見ない読書量！ 現在一人平均61冊

1月18日、図書館に本を借りに行きました。この日は、「自閉症の僕が跳びはねる理由」を借りました。そして、司書の先生に「12月の『図書だより』で紹介してあった新刊の『運動脳』はありますか？」と尋ねました。すると、「1年生の池田はると君が借りていきました。」という返答。私がこの頃読んだ本の中で一番面白かった本です。早速、池田はると君に尋ねると、「この本面白かったです。」との返答。隣にいた生徒が、「次借りよう。」と話していました。

司書の先生に調べてもらうと、相良中生は、本年度、現時点で1人平均61冊の本を読んでいるそうです。中学生の読書量としては、



全国でも類を見ない読書量だと自負しています。面白い本や素敵な本は人によって違います。違ってよいのです。今年になってから新刊が約300冊図書館に入っています。自分にとって面白い本・素敵な本とたくさん出逢ってほしいと思っています。

4 学校評価（保護者用：後期）のお願い。

「子供の成長」「学校の成長」のために！

1月13日、「後期の学校評価（生徒・教職員）の結果報告、並びに、保護者用学校評価のお願いについて」の文書を配付しました。すでに記入いただいた皆様、ご協力ありがとうございます。まだの皆様は、数分で記入できますので、右のQRコードをもとに、1月22日（日）までに、入力をよろしくお願ひします。

「挑戦する力」「発表力」「思いやる力」「元気力」の4つの力の現状を保護者の皆様とも共有し、子供の成長、そして学校の成長につなげていきたいと考えています。



学校評価（保護者用：後期）へ